

乾燥 スキンケア

ROSSO通信 1月号

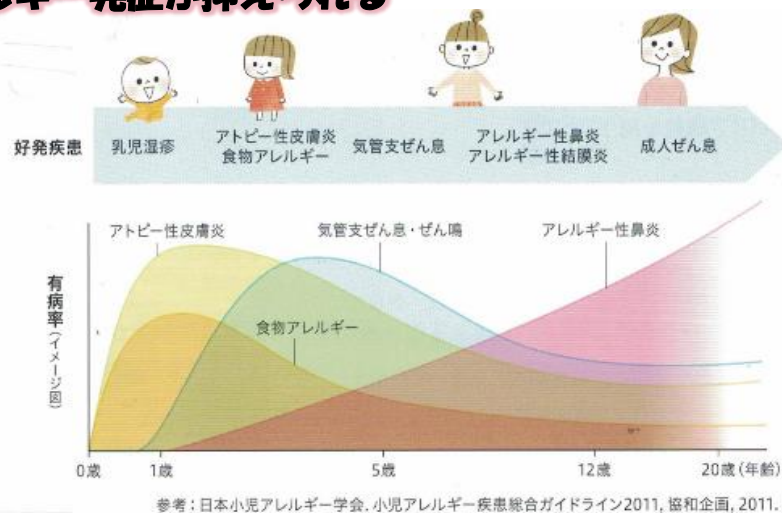
皮膚は「バリア機能」の働きにより体内にアレルギー物質やウイルスなどが入らないように働いていることを知っていますか？

皮膚が乾燥するとバリア機能を失いアレルギー物質や、細菌、ウイルスなどが侵入しやすくなります。正しいスキンケアをしてバリア機能を高めましょう！！

・生後早いうちからのスキンケアはアレルギー発症を抑えられる

生後1週間以内から保湿剤を塗り始めた結果、アトピー性皮膚炎の発症を30%～50%程度低下させたとの報告があります。

また、成人になった後もアレルギー症状の発症を抑えられるとの報告もあります。



・スキンケアでバリア機能を補う

スキンケアとは、皮膚についた汗や汚れ、アレルギー物質、細菌、ウイルスなどの刺激物を落として皮膚を清潔すること、保湿剤を塗ってバリア機能を補うことです。

・季節にあったスキンケア

夏

汗をかいたらシャワーで洗い流したり、濡らしたタオルでふき取りましょう。
プールの塩素や海の塩分は、皮膚のバリア機能を壊してしまうので真水で流しましょう。

冬

空気が乾燥しているので皮膚の水分が失われやすい時季です。入浴後や起床時などこまめに保湿剤を塗りましょう。

・保湿剤の種類

皮膚に浸透しない保護剤

皮膚の水分が蒸発しないようにふたの役割をします。
代表例：白色ワセリン、馬油



皮膚の浸透する保湿剤

保湿成分が皮膚に浸透して水分を蓄えます。また皮膚を覆うことで水分の蒸発も防ぎます。
代表例：ヘパリン類似物質、尿素軟膏